



四季 ~四中の季節~

教育目標 ●自分で考え進んで実践する人間 ●公共心に富み情操豊かな人間
●勤労を尊び責任を重んじる人間 ●健康でたくましい人間

『オリンピックと平和』

校長 関 勝 志

2学期が始まりました。久しぶりの登校風景を見て、こどもたちの笑顔と元気な姿にほっとしました。宿題が終わっていなかったかもしれませんが、元気に登校してくれたらそれでいいです。不安や辛いことがあったら誰かに胸の内を話してほしいです。学校でもこどもたちの気持ちをしっかり受け止めます。

3年生は修学旅行やライフプランニング授業、2年生は職場体験や防災訓練、1年生は川越校外学習やお仕事体験といった体験的な学習を多く予定しており、全校行事としては合唱コンクールを予定しています。こどもたちの活躍の場がたくさんあります。皆で力を合わせ、「笑顔」で頑張してほしいと思います。

パリオリンピックが開催されました。206の国・地域と難民選手団を合わせて約10,500人の選手が集まり、競い合いました。日本は45個（金20、銀12、銅13）のメダルを獲得しました。

感動的な場面がたくさんありましたが、私が一番印象に残ったのは、体操競技の男子団体で、日本が中国と接戦の末、大逆転で金メダルを獲得した場面です。日本選手の素晴らしい演技は言うまでもありませんが、「思いもよらないことが起こった」「諦めてはいけない」という意味での驚きがありました。

また、メダルや勝敗とは違った感動もありました。それは、ビーチバレー女子決勝のブラジル組とカナダ組の試合での出来事です。白熱した試合中、突然、ネットを挟んで選手同士の罵り合いが始まりました。怒りを滲ませた表情で言葉をぶつけ合う一触即発の事態に、審判が間に入って何度も笛を鳴らしてプレーに戻るよう促しても一向に収まりません。両チームにイエローカードが出され、場内に不穏な空気が漂った、そのときです。ある音楽が流れました。かつて世界で活躍したミュージシャン、ジョン・レノン（ビートルズ）の「Imagine（イマジン）」という曲です。「愛と平和」の歌として世界中で親しまれています。すると、この曲を聞いた選手たちの表情が一気に和らぎ、観客もメロディーに乗せて大合唱しました。そして、選手たちは落ち着きを取り戻し、試合が再開されました。DJのファインプレーでした。

古代オリンピックが途絶えてから1500年の時を経て、1896年にギリシャのアテネでオリンピックを復活させたのは、「近代オリンピックの父」と呼ばれるフランスのピエール・ド・クーベルタン男爵という人物です。そのクーベルタンが提唱したオリンピックのあるべき姿（オリンピズム）は、「スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化・国籍など様々な差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」というものです。オリンピックが最も大切にしているのは『平和』です。「Imagine」という曲がそのことに気付かせてくれたのです。

『平和』について考える機会がありました。8月6日の「広島平和記念日」と、9日の「ながさき平和の日」は、ともに原爆が投下された日です。そして、15日は「終戦の日」です。終戦から79年が経ちました。

私はNHKスペシャルで放送された「戦争とプロパガンダ」という番組を見ました。プロパガンダとは、特定の思想や世論、行動へ誘導する意図を持った行為のことを言います。日本とアメリカが、互いに戦争を正当化し、国民を戦争へと駆り立てるため、戦意を高揚させる映像を大々的に流す一方、不都合な映像を排除しました。映像と情報を操作することで憎しみがどんどんエスカレートしていく様子が映し出されていて、怖くなりました。



また、私は初めて広島の平和記念資料館を訪れました。1945年の8月6日に広島で何が起こったのか、被爆者の遺品や、被爆の惨状を示す写真や絵などが展示されていました。どれも現実には起こったこととは信じたくないものばかりで、胸が苦しくなりました。でも目を逸らしてはいけないと思いました。想像を絶する被爆者の死と苦しみを目の当たりにしたら、「死にたい」とか「死ぬ」なんて絶対に言えない。自分の命を大切に生きなければいけないと強く思いました。

「戦争」はなぜ起こるのでしょうか。宗教の違いや民族の違い、政権への不満、領土や資源の奪い合いなどが争いの原因となっています。それぞれに主張はありますが利己的です。そして、暴力や武力に訴えたことが悲劇を生んでいます。また、報復「やられたらやりかえす」という考え方が事態をさらに悪化させ、泥沼のようになっていきます。

『平和』とは何でしょうか。戦争がないことはもちろんですが、それだけでなく、いじめや暴力、犯罪、貧困、飢餓などの苦しみがないことです。安心して生活したり、勉強したり、遊んだりできることです。私たちが当たり前のように過ごしている日常は『平和』と言えると思いますが、利己的だったり、「やられたらやりかえす」という考え方をもったときには、いつ争いが起こっても不思議ではありません。そんなとき、「Imagine」を流したDJのように、『平和』のために勇気をもって行動する人の存在や、周りの人たちの温かい見守りが大切なのだと思います。

こどもたちには、どんなことがあっても、精いっぱい生きてほしいし、平和な世の中をつくらせてほしいと願っています。

■ 1年生校外学習について ■

1学年担当 小林順子・秋野 颯

中学校に入学して、初めての校外学習を10月11日(金)に実施します。班単位での行動を基本として、川越の街を巡る小さな旅に出かけます。事前学習では、学級の全員が異なるテーマを選択して、新聞にまとめる学習を行いました。各々が自由な形式でまとめを行い、個性豊かで有意義な事前学習になりました。

2学期が始まり、川越校外学習の実行委員が中心となって、生徒と一緒に準備を進めているところです。わくわくと緊張が入り混じる中でも、主体的に学び成功させたいという意気込みを感じます。普段まだあまり話したことのないクラスメイト同士でも、一日を行動する仲間として協力しあって、校外学習のスローガンである「“Guess what” 最高の思い出を in 川越」を学年みんなで達成してほしいと願っております。

■ 2年生職場体験について ■

2学年担当 田所寛聰

10月8日(火)から10日(木)までの3日間、2学年では職場体験を実施します。今年度は、61事業所が四中の生徒を受け入れてくださいました。事前学習では、ハローワークの講師の方を招いて、自身の職業適性を知り、また、希望する職種の理由を考えました。9月上旬に体験先が発表され、現在は「企業調べ」「交通手段」「マナー講習」を進めています。普段の学校生活とは異なり、ふさわしい態度で適切に仕事を進めていくことに対し、失敗しないかどうか、不安を抱える生徒も多いと思います。しかし、この職場体験を通して、勤労感を身に付け、よりよい生き方について考えるきっかけになることを期待しています。最後に、この職場体験のまとめ発表会を11月に予定しております。詳細は別途お知らせします。

■ 3年生修学旅行について ■

3学年担当 隠田亮介

10月5日(土)～7日(月)の日程で、修学旅行へ向かいます。3年間の集大成となる学年行事に向けて、6月から実行委員会を組織して準備してきました。

今年のスローガンは、「きょうなら変わる しかと学べる だから光れる 修学旅行」です。1日目は奈良公園内を、2日目と3日目は京都市内を班行動で巡ります。また2日目には、京都の伝統工芸等をそれぞれの班で体験しに行きます。3日間の班行動や宿舎での生活を通して、日本の古き良き文化に触れ、また仲間とともに過ごす中で、自分たちの成長や学びにつながることを期待しています。

■ お知らせ ■

小平市で実施している不登校施策について生徒及び保護者の皆様に対する説明会が開催されます。詳しい内容については、各学級担任よりお知らせを配布いたしました。申し込み方法等ご確認ください。

①「バーチャルスペースこだいら」「あゆみ教室」の説明会

日時：令和6年10月7日(月) 午後4時から午後5時

場所：小平元気村おがわ東3階あゆみ教室又はオンライン

②チャレンジクラス「上水さくら学級」の説明会

日時：令和6年10月8日(火) 午後4時から午後4時半

場所：小平市立上水中学校



■ 生徒の活躍 ■

【剣道部】 第63回東京都中学校総合体育大会剣道大会 男子団体 敢闘賞(ベスト8)

【吹奏楽部】 第64回東京都中学生吹奏楽コンクール 金賞(3年連続) ※東京都吹奏楽コンクール出場

■ 10月の主な行事 ■

1日	職場体験事前訪問始 専門委員会	17日	月曜授業 ①⑥チェンジ
2日	中央委員会	18日	3年進路説明会 避難訓練
3日	3年振替休業日(修学旅行5日分)	19日	土曜授業日「体験学習の日」
4日	修学旅行事前指導 職場体験事前訪問終		・1年「お仕事体験」
5日～7日	修学旅行		・2年「地域合同総合防災訓練」
8日	3年振替休業日(修学旅行6日分)		・3年「ライフプランニング」
	2年職場体験始	21日	振替休業日
10日	2年職場体験終	22日～24日	学校公開
11日	1年校外学習	24日	合唱コンリハーサル
15日	生徒総会リハーサル	31日	合唱コンクール
16日	生徒総会 安全指導		